

平成30年度 全国学力学習状況調査の結果

京都市立西陵中学校

4月17日に、本校3年生 78名を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語、数学、理科の3教科のテストと同時に、学校や家庭での過ごし方を問う調査も実施されており、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【総合結果（国語・数学・理科）】

国語A、理科は、やや全国平均を下回り、国語B、数学A・Bは、全国平均を下回っています。細かい分野別にみると、授業を中心に頑張っている成果として表れている部分がみえます。

しかし、国語Bや数学Bについては、説明をする問い合わせなど記述式問題に対しての無解答率が全国平均より高い傾向にあります。授業や家庭学習、定期テストなど、折に触れ記述に取り組み、問題に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢を育てることを目指しています。

今回は、まだ成果が表れていない点もありましたが、基礎学力の定着とともに、今後も取り組み続けていきたいと思います。



【数学】

数学に苦手意識を持つ生徒は少なくないようで、全般的に弱点がみられます。まず、文字式の計算や方程式の練習を続けると、図や表、グラフにして考察することもできるようになります。

数学Bの問題では考えたことを記述する問題が主ですが、計算で出た結果を表やグラフにし、イメージが見えてくると、考えが深まるようになります。問題文の中から必要な数を拾い、イメージをとらえるよう試みてください。それで正解の姿が見えてくることもあります。式に単純に当てはめるだけでなく、出てきた答の意味を考えてみる習慣をつけましょう。また資料の活用では、用語と意味をぜひ押さえておきましょう。



【国語】

漢字を書くことや文法分野に関しては京都府・全国平均を上回り、知識の定着が見られました。特に、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力が高く、グラフとの関連性も読み取ることができます。

一方で「書く」に関しては課題が見られ、無回答率も他の問題に比べて高くなっていました。文章を書くことへの抵抗感を減らすとともに、よく推敲し、読み手に分かりやすい文章を書くことを日常の様々な場面で意識してみましょう。

また、朝読書や授業内の新聞記事読解等をとおして、文章に読み慣れ、語彙を増やして活用する力を付けましょう。



【理科】

理科の調査結果はやや平均を下回りました。アンケート結果でも理科の授業に対して積極的な生徒も多く、問題に対して無回答の生徒も全国平均と比べて低かったです。

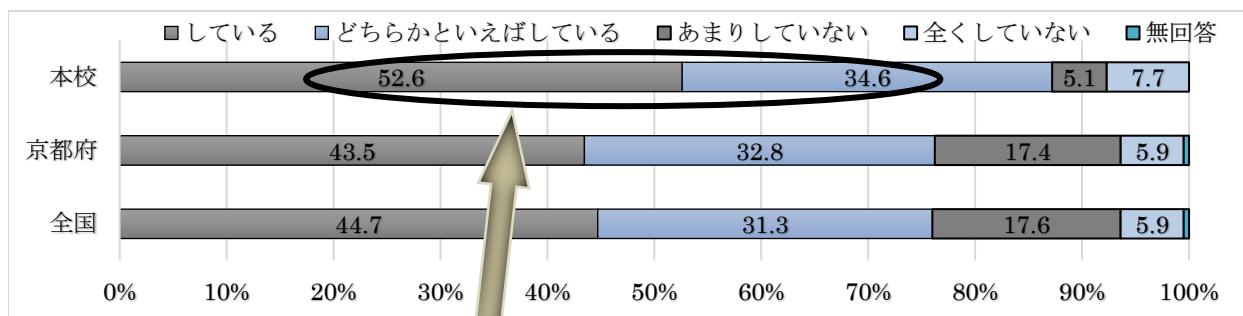
正答率が全国平均を上回る設問もありましたが、実験結果を活用して答えを導く問題や実験方法をどのように工夫していくのか考える問題は全国平均を少し下回りました。

今後も今年度から続けている資料を活用したり、資料から新しい実験を考える機会を増やしたりと、積極的に受けようとする力がさらに大きくなるように頑張っていきましょう。



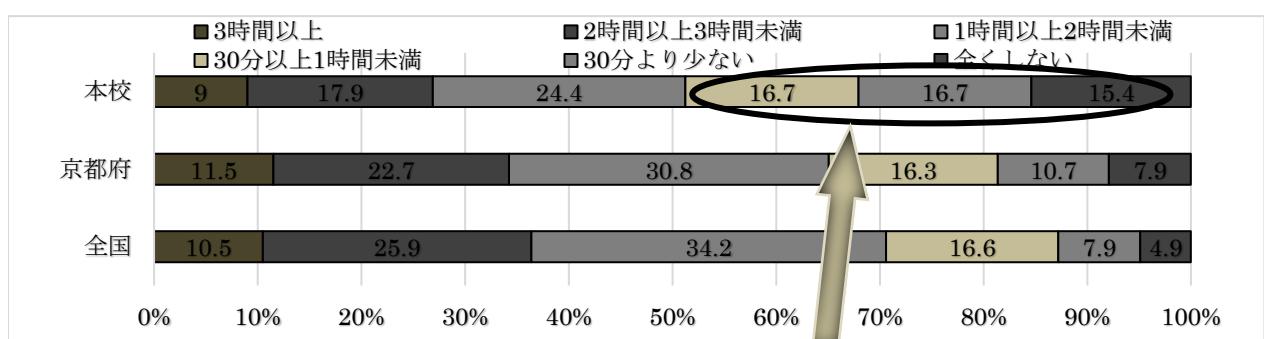
【生徒質問紙調査より】

Q：家人の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話しますか？



「学校での出来事を家人の人によく話す・どちらかといえば話す」生徒が全国より多く、90%近くとなっています。授業や部活動、友人のことなど学校生活の色々な出来事を話してくれています。また、保護者の方が子どもたちの声に耳を傾けて下さっているので、子どもたちも安心して話せるようです。

Q：学校以外（塾や家庭教師なども含む）で、1日にどれくらい勉強していますか？



「家で学校の宿題をしている・どちらかといえばしている」は、全国と同じで約90%と高い結果となりました。しかし、上記の「何時間くらい」に対しては、約半数の生徒が「1時間未満」と、全国に比べてもかなり短いのが現状です。ただ、この調査は4月実施だったため、現在は学習時間も増えているのではないでしょうか。

【保護者の皆さまへ】

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちのさまざまな力を伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。今回の結果が、学力のすべてを表わしているのでも、順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域みんなで見守り、地道な取組の積み重ねにより、高まっていくもので、日々の生活や学習の習慣がその基盤となるのです。上記アンケート結果のように、多くの子どもたちが家の人に学校生活の話をしています。学校生活は嬉しいことだけでなく、時には悲しいことや悔しいこともあると思います。それらの経験はもちろん、そのとき話を聞いてもらった保護者の方の言葉かけも、子どもたちの成長につながっているのだと思います。「授業」だけでなく、「西陵祭」や「生徒会活動」「部活動」など、本校には生徒たちが活躍する場面が多くあります。それらの場面での自信が粘り強く学習する土台にもなっています。

今回の本校の結果をみると、学力は少しずつ伸びてきていますが、課題もあります。

アンケートにもあるように課題のひとつが「家庭学習の短さ」です。その原因のひとつに「携帯電話・スマートフォンの使用時間」が考えられます。ご家庭でももう一度、見直して頂き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いします。

